英文法 L01 第 3 講 S・V・O・C・M と五文型

学習目標

- 英文を構成する S（主語）・V（動詞）・O（目的語）・C（補語）・M（修飾語）の働きを区別できる。
- 基本的な英文について、SV・SVC・SVO・SVOO・SVOC の五文型を判断できる。
- O と C の違いを、動詞との関係や「S が C である」「O が C である」という意味の関係から説明できる。
- 修飾語 M を文の骨格と区別し、前置詞句を無条件に目的語と判断せずに分析できる。

1. 英文は「語の役割」で組み立てられている

語順だけでなく、語の役割を見る

英語では、語を置く順番によって、それぞれの語が文の中でどのような働きをするかが決まる。

次の英文を見よう。

The little birds eat seeds in the garden.

訳：小さな鳥たちは庭で種を食べる。

この文では、次のことが表されている。

- 誰が食べるのか：The little birds（小さな鳥たち）
- 何をするのか：eat（食べる）
- 何を食べるのか：seeds（種）
- どこで食べるのか：in the garden（庭で）

このように、英文を理解するには、単語の意味だけでなく、文の中で担う役割を見分ける必要がある。

英文の基本的な役割は、S・V・O・C・M という 5 つの記号で表すことができる。

S・V・O・C・M の意味

記号	名称	基本的な働き
S	Subject（主語）	「誰が・何が」に当たる部分
V	Verb（動詞）	主語の動作や状態などを表す部分
O	Object（目的語）	動詞が表す動作などの対象となる部分
C	Complement（補語）	主語や目的語が何であるか、どのような状態かを説明する部分
M	Modifier（修飾語）	場所・時間・様子などの情報を付け加える部分

S・V・O・C は、文の基本的な骨格を考える際の中心となる。

M は、骨格に場所・時間などの情報を付け加える働きをする。

ただし、M と呼ばれる部分がすべて自由に省略できるわけではない。

©ミライコーチング

語ではなく、まとまり全体の役割を見る

The little birds は、3 語で 1 つの S となる。

The と little は birds とまとまって、「小さな鳥たち」という主語を作っている。

したがって、文の骨格を考えるときは、birds だけを S にして The little を別の主要要素として切り離すのではなく、**The little birds 全体を S** と判断する。

同じように、a small house（小さな家）のような名詞のまとまりも、文中の働きに応じて全体で S・O・C などになる。

2. 五文型の基本

動詞の後ろに何が続くかで骨格を見分ける

基本的な英文の骨格は、次の 5 つの形に整理できる。

文型	基本構造	代表的な意味
第 1 文型	SV	S が V する
第 2 文型	SVC	S は C である・S が C の状態になる
第 3 文型	SVO	S が O を V する
第 4 文型	SVOO	S が人などに物などを V する
第 5 文型	SVOC	S が O を C と呼ぶ・O を C の状態にするなど

第 1 文型から第 5 文型という名前は、基本的な文の骨格を区別するための分類である。

五文型の重要な点は、単に記号を暗記することではない。

V の後ろに何が続き、その部分がどのような意味の関係を作っているか を判断することが大切である。

ここから各文型を具体的に見ていく。

第 1 文型：SV

主語と動詞で骨格ができる

SV = 主語＋動詞

第 1 文型では、S と V で基本的な骨格ができる。

The little birds sing in the garden.

S 主語 [s]: “The little birds” / The little birds 全体が主語

V 動詞 [v]: “sing” / sing は「歌う」という動作を表す

M 場所 [m]: “in the garden” / in the garden は歌う場所を説明する

訳：小さな鳥たちは庭で歌う。

この文では、The little birds が S、sing が V である。

in the garden は「庭で」という場所の情報を加えている。

in the garden を O としない理由は、sing が何かを対象として歌っているのではなく、「どこで歌うか」を表しているからである。

したがって、この文の骨格は SV となる。

第 2 文型：SVC

補語が主語を説明する

SVC = 主語＋動詞＋補語

第 2 文型では、C が S について説明する。

The little birds are quiet in the garden.

S 主語 [s]: “The little birds”

V 動詞 [v]: “are”

C 補語 [c]: “quiet” → s / quiet は S である The little birds の状態を説明する

M 場所 [m]: “in the garden” / in the garden は場所を説明する

訳：小さな鳥たちは庭で静かにしている。

この文では、The little birds が S、are が V、quiet が C である。

quiet は「静かな」という意味の形容詞であり、主語の状態を説明している。

ここには、次の意味の関係がある。

The little birds are quiet.

訳：小さな鳥たちは静かである。

つまり、**S が C の状態である**。

これを簡単に「S＝C の関係」と呼ぶ。

ただし、数学の等号のように 2 つが同じ物であるという意味ではない。主語について、補語の内容が成り立つという意味である。

be 動詞は、このように S と C を結ぶ代表的な動詞である。

第 3 文型：SVO

動詞の対象が目的語になる

SVO = 主語＋動詞＋目的語

第 3 文型では、V の後ろに O が続く。

The little birds eat seeds in the garden.

S 主語 [s]: “The little birds”

V 動詞 [v]: “eat”

O 目的語 [o]: “seeds” / seeds は eat の対象となる

M 場所 [m]: “in the garden” / in the garden は食べる場所を説明する

訳：小さな鳥たちは庭で種を食べる。

この文では、seeds が O である。

eat は「食べる」という動作を表し、seeds はその動作の対象となっている。

ここでは「何を食べるのか」と尋ねると、seeds が答えになる。

このように、目的語を取る用法の動詞を他動詞という。

ただし、O は必ず日本語の「〜を」に対応するわけではない。動詞との関係を基に判断する必要がある。

第 4 文型：SVOO

目的語が 2 つ続く

SVOO = 主語＋動詞＋目的語 1＋目的語 2

第 4 文型では、動詞の後ろに 2 つの目的語が続く。

The kind teacher gives the child a book.

S 主語 [s]: “The kind teacher”

V 動詞 [v]: “gives”

O1 相手 [o1]: “the child” / the child は本を受け取る相手

O2 物 [o2]: “a book” / a book は与える物

訳：その親切な先生は、その子どもに本を 1 冊与える。

この文では、the child と a book の両方が O である。

- O1：the child（与える相手）
- O2：a book（与える物）

ここで、the child と a book は同じ物ではない。

「相手に物を与える」という関係を、2 つの目的語で表している。

give は、このような形を取る代表的な動詞である。

第 5 文型：SVOC

補語が目的語を説明する

SVOC = 主語＋動詞＋目的語＋補語

第 5 文型では、C が O の性質・状態などを説明する。

The kind teacher keeps the room clean.

S 主語 [s]: “The kind teacher”

V 動詞 [v]: “keeps”

O 目的語 [o]: “the room”

C 補語 [c]: “clean” → o / clean は O である the room の状態を説明する

訳：その親切な先生は、部屋をきれいな状態に保っている。

この文では、the room が O、clean が C である。

clean は「きれいな」という形容詞であり、the room がどのような状態なのかを説明している。

つまり、次の関係が成り立つ。

The room is clean.

訳：その部屋はきれいである。

このように、第 5 文型では **O が C の状態である、または O が C に当たる** という関係がある。

これを「O＝C の関係」と呼ぶ。

第 2 文型との違いは、C が説明する相手である。

- SVC：C は S を説明する。
- SVOC：C は O を説明する。

3. O と C を見分ける

目的語と補語の決定的な違い

O と C を区別するときは、次の 2 点を確認する。

O（目的語）

動詞が表す動作などの対象となる。

例：eat an apple（リンゴを食べる）

an apple は eat の対象である。

C（補語）

S または O が何であるか、どのような状態かを説明する。

例：The girl is kind.（その女の子は親切である）

kind は S の状態を説明する。

例：They call her a leader.（彼らは彼女をリーダーと呼ぶ）

a leader は O である her について説明する。

したがって、判断の中心は次の関係である。

文型	確認する関係	判断
SVC	S が C である	C は主語補語
SVO	V の対象が O である	O は目的語
SVOO	O1 は受け手など、O2 は物など	O が 2 つ
SVOC	O が C である	C は目的語補語

第 4 文型と第 5 文型を比較する

次の 2 文を比較しよう。

Pair 1

The teacher gave the child a book.

その先生は子どもに本を 1 冊与えた。

Pair 2

The teacher called the child a genius.

その先生はその子どもを天才と呼んだ。

どちらも動詞の後ろに名詞のまとまりが 2 つある。

しかし、後半の意味の関係が異なる。

第 4 文型の場合

The teacher gave the child a book.

- O1：the child

・O2：a book
the child と a book は同じ人物・物を指していない。

子どもが本を受け取るという関係である。

第 5 文型の場合

The teacher called the child a genius.

・O：the child
・C：a genius
この場合は、the child について「天才である」と説明している。

したがって、the child が a genius に当たるという O＝C の関係がある。

動詞の後ろに 2 つの名詞のまとまりがあるからといって、必ず第 4 文型になるわけではない。

4. 修飾語 M と文の骨格

前置詞句を無条件に目的語としない

M は、場所・時間・様子などを付け加える働きをする。

例えば、次の英文を見よう。

The students study English after school.

訳：その生徒たちは放課後に英語を勉強する。

この文は、次のように考えられる。

・S：The students
・V：study
・O：English
・M：after school
after school は「放課後に」という時間の情報を加えている。

したがって、基本的な骨格は SVO である。

ここで注意したいのは、前置詞の後ろにある名詞を、文型上の O と自動的に判断しないことである。

例えば、after school の school は前置詞 after の後ろにある名詞であるが、この英文の動詞 study に直接続く O として扱うのではない。

after school 全体が、文の時間を説明する M として働いている。

また、M は場所・時間などを表すからといって、すべて省略してよいわけではない。動詞の種類や意味によって、特定の語句が必要になる場合もある。

文型を判断するときは、語句の位置だけでなく、その働きを確かめることが重要である。

五文型を使うときの注意

五文型は、基本的な英文の骨格を理解するために役立つ分類である。

ただし、すべての英文を例外なく単純な五文型のどれかに当てはめられるわけではない。

まずは本講で扱う基本的な肯定文について、S・V・O・C と M の働きを正確に判断できるようにする。

また、本講で扱う C は、名詞・形容詞による基本的な補語に限定する。

5. 文型を判断する手順

3 つの順番で考える

① S と V を見つける

「誰が・何が」と「どうする・どのような状態である」を確認する。

② 動詞の後ろの要素を調べる

動詞の対象なら O、S や O の説明なら C となる。

O が 2 つある場合は、それぞれの意味の関係を確認する。

③ M を区別して骨格を確定する

場所・時間などを説明している部分を確認し、主要な骨格から区別する。

文の形を先に決めつけるのではなく、語の働きを調べた結果として文型を判断する。

6. 例題

1

次の 2 つの英文について、文型の説明として正しいものを A〜D から 1 つ選べ。

The children laughed after the game.

The children were happy after the game.

- A. 第 1 文は SVC、第 2 文は SV であり、after the game は両文とも M である。
- B. 第 1 文は SV、第 2 文は SVC であり、after the game は両文とも M である。
- C. 両方とも SVO であり、after the game は O である。
- D. 両方とも SVOC であり、happy と after the game は C である。

解答・解説

正解：B

まず、第 1 文を確認する。

The children laughed after the game.

訳：その子どもたちは試合の後に笑った。

- S：The children
- V：laughed
- M：after the game

laughed は「笑った」という動作を表す。

動詞の後ろにある after the game は、「いつ笑ったか」を説明する M である。

したがって、第 1 文は SV となる。

次に、第 2 文を見る。

The children were happy after the game.

訳：その子どもたちは試合の後、うれしかった。

- S：The children
- V：were

- C：happy
- M：after the game

happy は The children の状態を説明する形容詞である。

The children were happy.（その子どもたちはうれしかった）という S と C の関係が成り立つ。

したがって、第 2 文は SVC となる。

各選択肢の検討

- **A：誤り**。 第 1 文には S を説明する C がなく、第 1 文は SV である。第 2 文には happy という C があり、SVC である。
- **B：正しい**。 第 1 文は SV、第 2 文は SVC である。after the game はどちらも時間を説明する M である。
- **C：誤り**。 after the game は動詞の対象ではなく、時間を説明する部分である。したがって O ではない。
- **D：誤り**。 第 1 文にも第 2 文にも、C が説明する目的語 O が存在しない。happy は第 2 文の S を説明する C である。

2

次の英文の構造について、正しい説明を A〜D から 1 つ選べ。

The young student opened the window quietly.

- A. young は文全体の M であり、The と student だけが S である。
- B. the window は C であり、The young student の状態を説明する。
- C. quietly は O であり、opened という動作の対象である。
- D. The young student が S、opened が V、the window が O、quietly が M である。

解答・解説

正解：D

英文の訳は次のとおりである。

その若い生徒は静かに窓を開けた。

各部分の働きを確認する。

- S：The young student
- V：opened
- O：the window
- M：quietly

opened は「開けた」という動作を表す。

the window は「何を開けたのか」という動作の対象であるため、O となる。

quietly は「静かに」という動作の様子を表す副詞であり、M となる。

したがって、文の骨格は SVO である。

各選択肢の検討

- **A：誤り**。 young は student を説明する形容詞であり、The young student 全体が S である。young だけを文の骨格の外へ切り離さない。
- **B：誤り**。 the window は開ける対象であり O である。主語である生徒の性質・状態を説明しているわけではない。

- **C：誤り**。 quietly は動作の様子を説明する M であり、動作の対象ではない。
- **D：正しい**。 主語、動詞、目的語、修飾語の区別がすべて正しい。

3

次の 2 文について、文型の組み合わせとして正しいものを A〜D から 1 つ選べ。

The coach gave the player a medal.

The news made the player happy.

- A. 第 1 文は SVOO、第 2 文は SVOC である。
- B. 第 1 文は SVOC、第 2 文は SVOO である。
- C. 第 1 文も第 2 文も SVC である。
- D. 第 1 文は SVO、第 2 文は SV である。

解答・解説

正解：A

第 1 文を確認する。

The coach gave the player a medal.

訳：そのコーチはその選手にメダルを 1 つ与えた。

- S：The coach
- V：gave
- O1：the player
- O2：a medal

gave は「与えた」という意味である。

the player は与える相手、a medal は与える物である。

この 2 つはどちらも目的語であるため、SVOO となる。

次に第 2 文を見る。

The news made the player happy.

訳：その知らせはその選手をうれしい気持ちにさせた。

- S：The news
- V：made
- O：the player
- C：happy

happy は「うれしい」という意味の形容詞であり、the player の状態を説明する。

The player was happy.（その選手はうれしかった）という関係で確認すると、happy が the player の状態を表していることが分かる。

したがって、第 2 文は SVOC となる。

各選択肢の検討

- **A：正しい**。 第 1 文には相手と物という 2 つの O があり、第 2 文には O と、その状態を説明する C がある。
- **B：誤り**。 第 1 文の the player と a medal は同じ物ではなく、O と C の関係にならない。第 2 文の happy は目的語ではなく、the player を説明する C である。

- **C：誤り**。 どちらの文も S を説明する C が動詞の直後に置かれた SVC ではない。第 1 文は SVOO、第 2 文は SVOC である。
- **D：誤り**。 第 1 文の a medal は M ではなく 2 つ目の O である。第 2 文では the player が O、happy が C であるため、SV ではない。

7. 演習問題

各問について、A〜D から正しい説明を 1 つ選べ。

文の骨格を判断する問題

1

次の英文について、正しい説明を選べ。

The train arrives at the station every morning.

- A. at the station が C となる SVC である。
- B. the station が O となる SVO である。
- C. The train が S、arrives が V であり、残りは場所・時間を表す M である。
- D. at the station と every morning が 2 つの O となる SVOO である。

2

次の英文について、正しい説明を選べ。

My older sister is a careful driver.

- A. My older sister が S、is が V、a careful driver が C となる SVC である。
- B. a careful driver は M であり、文の骨格は SV である。
- C. a careful driver は is の対象となる O であり、SVO である。
- D. My older sister が O となり、a careful driver が C となる SVOC である。

3

次の英文について、正しい説明を選べ。

The boy washed his hands before lunch.

- A. his hands は M であり、文の骨格は SV である。
- B. his hands は S を説明する C であり、SVC である。
- C. before lunch が his hands を説明する C であり、SVOC である。
- D. his hands が O、before lunch が M となる SVO である。

4

次の英文について、正しい説明を選べ。

Our English teacher gave us some homework yesterday.

- A. us が O、some homework が M となる SVO である。
- B. us と some homework が 2 つの O、yesterday が M となる SVOO である。
- C. us が O、some homework が C となる SVOC である。
- D. some homework が S を説明する C となる SVC である。

©ミライコーチング

5

次の英文について、正しい説明を選べ。

The bright stars shine in the night sky.

- A. The bright stars が S、shine が V、in the night sky が M となる SV である。
- B. the night sky が shine の O となる SVO である。
- C. bright が S を説明する独立した C となる SVC である。
- D. bright と in the night sky が 2 つの O となる SVOO である。

6

次の英文について、正しい説明を選べ。

The news made the little girl happy.

- A. the little girl と happy は 2 つの O であり、SVOO である。
- B. happy は M であり、the little girl だけが O となる SVO である。
- C. the little girl が O、happy がその状態を説明する C となる SVOC である。
- D. the little girl が S を説明する C となる SVC である。

O と C を区別する問題

7

次の英文について、正しい説明を選べ。

The soup is hot on the table.

- A. hot は is の対象となる O である。
- B. on the table は O であり、the table が動詞 is の対象である。
- C. The soup が C、hot が S である。
- D. hot は S である The soup の状態を説明する C である。

8

次の英文について、正しい説明を選べ。

My father bought a small table yesterday.

- A. a small table は My father の状態を説明する C である。
- B. a small table は bought という動作の対象となる O である。
- C. yesterday が O であり、a small table は M である。
- D. small は C であり、a table は O である。

©ミライコーチング

9

次の英文について、正しい説明を選べ。

The classmates named the puppy Lucky.

- A. the puppy と Lucky は 2 つの O であり、SVOO である。
- B. the puppy は S を説明する C である。
- C. the puppy が O、Lucky がその名前を表す C である。
- D. Lucky は場所を表す M である。

10

次の英文について、正しい説明を選べ。

The librarian showed the visitors the map.

- A. the visitors が O1、the map が O2 となる SVOO である。
- B. the visitors が O、the map がその状態を説明する C となる SVOC である。
- C. the map は文末にあるため M である。
- D. the visitors は The librarian を説明する C である。

演習問題の解答・解説

1

正解：C

英文・和訳
The train arrives at the station every morning.

その列車は毎朝駅に到着する。

構造
- S：The train
- V：arrives
- M：at the station
- M：every morning

arrives は「到着する」という動作を表す。at the station は到着する場所、every morning は時間を表している。したがって、基本的な骨格は SV である。

各選択肢の検討
- **A：誤り**。 at the station は S の性質・状態を説明する C ではなく、到着する場所を表している。
- **B：誤り**。 the station は前置詞 at の後ろにある名詞であり、ここでは at the station 全体が場所を表す M となる。
- **C：正しい**。 The train が S、arrives が V であり、場所と時間を表す部分は M である。
- **D：誤り**。 at the station も every morning も arrives の目的語ではない。2 つの O を持つ SVOO ではない。

2

正解：A

英文・和訳
My older sister is a careful driver.

私の姉は注意深い運転手である。

構造
- S：My older sister
- V：is
- C：a careful driver

a careful driver は、主語である My older sister がどのような人物であるかを説明している。「私の姉は注意深い運転手である」という S＝C の関係が成り立つため、SVC となる。

各選択肢の検討
- **A：正しい。** a careful driver は S の内容を説明する名詞のまとまりであり、C である。
- **B：誤り。** a careful driver は単なる追加情報の M ではなく、主語が何者であるかを説明する C である。
- **C：誤り。** is はここで S と C を結んでいる。a careful driver は動作の対象となる O ではない。
- **D：誤り。** My older sister は文の主語 S であり、O ではない。O を説明する C も存在しない。

3

正解：D

英文・和訳
The boy washed his hands before lunch.

その少年は昼食前に手を洗った。

構造
- S：The boy
- V：washed
- O：his hands
- M：before lunch

washed は「洗った」という動作を表す。his hands は洗う対象であるため O となる。before lunch は動作が行われた時間を表す M である。したがって、文型は SVO である。

各選択肢の検討
- **A：誤り。** his hands は洗う対象であり、単なる修飾語 M ではない。
- **B：誤り。** his hands は The boy の性質・状態を説明する C ではなく、washed の対象となる O である。
- **C：誤り。** before lunch は「昼食前に」という時間を表す。his hands の性質・状態を説明する C ではない。
- **D：正しい。** washed の対象である his hands が O、時間を表す before lunch が M となり、骨格は SVO である。

4

正解：B

英文・和訳
Our English teacher gave us some homework yesterday.

私たちの英語の先生は昨日、私たちに宿題を出した。

構造
- S：Our English teacher
- V：gave
- O1：us
- O2：some homework
- M：yesterday

gave は「与えた」という意味であり、ここでは宿題を出したことを表している。us は宿題を与えられる相手、some homework は与えられる物である。したがって、2 つの O を持つ SVOO となる。

各選択肢の検討
- **A：誤り**。 some homework は与えられる物であり、M ではなく O である。
- **B：正しい**。 us が受け手を表す O1、some homework が物を表す O2、yesterday が時間を表す M である。
- **C：誤り**。 some homework は us が何であるか、どのような状態かを説明していない。O＝C の関係にならない。
- **D：誤り**。 some homework は主語である Our English teacher を説明する C ではない。先生自身が宿題であるという意味ではない。

5

正解：A

英文・和訳
The bright stars shine in the night sky.

明るく輝く星々が夜空で光っている。

構造
- S：The bright stars
- V：shine
- M：in the night sky

shine は「光る」という動作・現象を表す。in the night sky は「夜空で」という場所を説明している。したがって、骨格は SV である。

各選択肢の検討
- **A：正しい**。 The bright stars 全体が S、shine が V、in the night sky が場所を表す M である。
- **B：誤り**。 the night sky は前置詞 in の後ろにある名詞のまとまりであり、in the night sky 全体が場所を表す M である。
- **C：誤り**。 bright は stars を修飾する形容詞であり、主語のまとまりの内部にある。動詞の後ろに置かれた独立した C ではない。
- **D：誤り**。 bright は主語内の形容詞、in the night sky は場所を表す M であり、どちらもこの文の O ではない。

6

正解：C

英文・和訳
The news made the little girl happy.

その知らせはその幼い女の子を幸せな気持ちにさせた。

構造
- S：The news
- V：made
- O：the little girl
- C：happy

made はここで、目的語をある状態にすることを表している。happy は形容詞であり、O である the little girl の状態を説明する。「その女の子が幸せである」という O＝C の関係が成り立つため、SVOC となる。

各選択肢の検討
- **A：誤り**。 happy は 2 つ目の目的語ではなく、the little girl の状態を説明する C である。
- **B：誤り**。 happy は単に動作の時間・場所・様子を付け加える M ではない。目的語の状態を説明する C である。
- **C：正しい**。 the little girl が O、happy が O の状態を説明する C となり、SVOC である。
- **D：誤り**。 the little girl は The news という主語を説明する C ではなく、made の対象となる O である。

7

正解：D

英文・和訳
The soup is hot on the table.

テーブルの上にあるそのスープは熱い。

構造
- S：The soup
- V：is
- C：hot
- M：on the table

hot は「熱い」という意味の形容詞である。The soup is hot.（そのスープは熱い）という関係から、hot が S の状態を説明していることが分かる。したがって、hot は C であり、文型は SVC である。

各選択肢の検討
- **A：誤り**。 hot は動詞の対象となる O ではなく、S の状態を説明する C である。
- **B：誤り**。 on the table はスープの場所を説明する M である。the table を is の O として扱わない。
- **C：誤り**。 The soup は文の主語 S、hot は S の状態を説明する C である。両者の役割が逆になっている。
- **D：正しい**。 hot は S である The soup について「熱い」という状態を説明しているため、C である。

8

正解：B

英文・和訳
My father bought a small table yesterday.

私の父は昨日、小さなテーブルを買った。

構造
- S：My father
- V：bought
- O：a small table
- M：yesterday

bought は「買った」という動作を表す。a small table は買った対象であるため、O となる。a small table という名詞のまとまりの内部では、small が table を説明している。しかし、small を文型上の独立した C とはしない。

各選択肢の検討
- **A：誤り**。 a small table は買った対象であり、My father の状態を説明する C ではない。
- **B：正しい**。 a small table 全体が bought の対象となる O である。
- **C：誤り**。 yesterday は「昨日」という時間を説明する M であり、O ではない。a small table が O である。
- **D：誤り**。 small は table を修飾する形容詞であり、a small table という O の内部に含まれる。small だけを C として切り離さない。

9

正解：C

英文・和訳
The classmates named the puppy Lucky.

そのクラスメートたちはその子犬にラッキーという名前を付けた。

構造
- S：The classmates
- V：named
- O：the puppy
- C：Lucky

named はここでは「名前を付けた」という意味である。the puppy は名前を付けられた対象であるため、O となる。Lucky はその子犬に付けられた名前であり、the puppy が何と呼ばれるかを説明する C である。つまり、the puppy が Lucky という名前であるという O＝C の関係がある。したがって、文型は SVOC である。

各選択肢の検討
- **A：誤り**。 Lucky は 2 つ目の目的語ではなく、the puppy に付けられた名前を表す C である。
- **B：誤り**。 the puppy は The classmates という主語を説明する C ではない。名前を付けられる対象であり O である。
- **C：正しい**。 the puppy が O、Lucky がその名前を説明する C となり、SVOC である。
- **D：誤り**。 Lucky は場所を表す M ではなく、その子犬の名前を表す C である。

10

正解：A

英文・和訳
The librarian showed the visitors the map.

その図書館員は訪問者たちにその地図を見せた。

構造
- S：The librarian
- V：showed
- O1：the visitors
- O2：the map

showed は「見せた」という意味である。the visitors は地図を見せられる相手、the map は見せる物である。ここでは 2 つの O が続いているため、文型は SVOO である。

各選択肢の検討
- **A：正しい**。 the visitors が見せる相手を表す O1、the map が見せる物を表す O2 である。
- **B：誤り**。 the map は the visitors が何者であるか、どのような状態かを説明していない。O＝C の関係はない。
- **C：誤り**。 the map は見せる対象そのものであり、M ではなく O である。語句が文末にあるという理由だけで M とは判断できない。
- **D：誤り**。 the visitors は地図を見せられる相手であり、The librarian の性質・状態を説明する C ではない。